

米軍機落下物事故

「あわや大惨事」

自治体、住民憤り

「大惨事になってもおかしくない」。交通量の多い白昼の県道に、米軍機の機体の一部が落下した事故。現場近くの米海軍厚木基地（大和、綾瀬市）周辺の自治体、住民からは憤りの声が上がった。

（県央総局、報道部）＝本記1面に

「空からヒラヒラと何かが落ちてくるのが見えた。くぐり抜けようとしたが、間に合わず車の後部に当たった。コッソンという音がした」。部品が衝突した乗用車を運転していた大和市内に住む男性会社員（59）はそう振り返る。当時は仕事で、ラジオを聞いていたとい

「警察や米軍が部品を回収している最中も事故機の

同型機が飛行を続けた。この無神経さが分らない。米軍は当事者として何を考えているのか」現場近くを通る相模鉄道は航空機事故に備え、一部がトンネル化されているものの、一部の部品が線路内に落ちた恐れもある。同社は「事故は報道で知った。運行ダイヤには影響は出ていない」とした。

後を絶たない部品落下。地元の大木哲大和市長は「決してあってはならない」、空間城治郎綾瀬市長は「大変怒りを感じている。安全対策が講じられるまで、すべての飛行停止を強く求める」とコメント。両市長は9日、基地を訪れ再発防止を求める。

黒岩祐治知事は「早急に原因究明を行い、実効性ある再発防止策を確立するとともに、徹底した安全管理に努めることを強く求める」とのコメントを出した。

教育現場 「子ども守りたいが…」

厚木基地近くには小学校や保育園が多い。生活の場で起きた落下事故に子育て世代や教育現場も不安を隠さない。現場近くの保育園に子どもが通う介護士の女性（28）は「とても不安。飛行機が上空を飛ぶのも怖い」。

体育やクラブ活動で利用する校庭の上空を軍用機が飛び、騒音で授業が中断されることも少なくない。基地に近い小学校の教頭は「児童にけががなくてよかった」と胸をなで下ろす一方、「子どもの安全を守りたいが、学校で対処できる話ではない。国などがしっかり交渉してくれないと」

過去10年の米軍機による落下事故

発生年月日	落下物	場所	被害状況
2002.9.15	部品	藤沢市	屋根破損
03.3.14	部品	相模湾上	なし
04.7.19	銃弾	横浜市泉区	なし
04.11.29	部品	厚木基地内	なし
04.12.7	部品	藤沢市	屋根破損
05.4.14	部品	不明	なし
05.4.14	部品	不明	なし
05.5.23	部品	不明	なし
06.5.22	部品	丹沢山中	なし
06.10.12	部品	小田原市	なし
07.2.27	部品	不明	なし
07.4.10	部品	不明	なし
09.2.17	部品	綾瀬市	なし
10.1.28	部品	綾瀬市	窓ガラス破損
10.3.4	部品	不明	なし
11.2.3	機材	寒川町	なし
12.2.8	部品	大和市	車破損



厚木基地近くの県道に落下した米軍機の部品。奥の線路は相模鉄道
11月8日午後3時20分ごろ、大和市長草柳